



壱岐高便り

第225号

発行責任者
桑原 鉄次



携帯サイトへ

長崎県立壱岐高等学校
[TEL] 0920-47-0081

長崎県壱岐市郷ノ浦町片原触88
[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言

“かたつむり”に想う

教頭 下川 拓朗



6月上旬のある日のことです。週末の散歩を楽しんでいた私は、いつものように昔の風景と重ねながら本校周辺を歩いていました。校舎こそ建て替わりましたが、校地内から見える景色は今も昔も同じです。懐かしさを感じながら、体育館付近の階段を登っていると、梅雨入り前の“かたつむり”が、ゆっくりと歩みを進めていました。遅くとも確実に前に進むその姿は、次の句を私に思い出させてくれました。

「たゆまざる 歩みおそろし かたつむり」

これは、長崎平和公園内にある平和記念像の作者、北村西望（せいぼう）氏の句です。北村氏は平和記念像製作中、足元にいた一匹の“かたつむり”を見つけます。翌日、彫刻を再開しようとする、その“かたつむり”は、約10mの記念像の頂点に移動していました。「一步一步の歩みは遅くとも、時間をかければ物事を成し遂げることができる」ということに気づき、「自分は天才ではない、他人が5年でやることを10年かけてやる」と自身に言い聞かせていたそうです。“かたつむり”の歩みを用いたこの句は、いつの時代も、人の成長には時間をかけ継続することが大切であると教えてくれます。

世の中や、ともすれば学校でも、物事を早くこなせたり、自己の考えをうまく言い表せたりなど、積極的に周囲に役立つことを求められる機会が多いように思われます。しかし、時間はかかっても努力している生徒や自己の考えをうまく表現できなくとも自分と向き合い、自分を大切にしている生徒も多くいます。壱岐高でも同様で、それぞれの生徒が自己と向き合い、豊かな心を育むために毎日を積み重ねています。それぞれの成長過程の中にいるからこそ、教職員も生徒たちを広い心で見守り、成長を支援していくことで教育に携わっていかねばならないと考えています。

さて、壱岐高生にとって、大切な8月を迎えます。やらなければならないことを把握しているけれども、なかなか前に進めることができず悩んでいる・・・そんな人も少なくはないと思います。自分を成長させたいと考える人は、“かたつむりの歩み”のように、ゆっくりでも確実に物事を進めてほしいと思います。この夏、“たゆまざる歩み”を実践し、壱岐高生が自分と向き合い、大きく成長してくれることを心から期待しています。

【お詫びと訂正】第224号の巻頭言で、高総体入賞を果たした陸上部3年生上川祐佳さんの種目を「砲丸投げ」としておりましたが、正しくは「円盤投げ」でした。訂正してお詫びいたします。

6/29(土)
インターンシップ事前講習会



インターンシップに向けて、社会人として求められる立ち振る舞いのあり方や、コミュニケーションの心得などについて学びました。壱岐市商工会長久原様より激励の言葉をいただき、インターンシップに向けて意識を高めることができました。

7/1(月)~5(金) インターンシップ



多くの事業所のご協力を得て、貴重な体験ができました。
事業者の皆様、ありがとうございました。

7/4(木) 生徒会執行部役員任命式



新生徒会長となった2年5組丸山隼平さんを中心に、新生徒会が発足しました。
皆で壱岐高校を盛り上げていきましょう!

7/4(木)
全国高等学校野球選手権長崎大会壮行式



【結果】7/19(金) 壱岐3-7長崎南山
応援ありがとうございました!

7/11(木) 情報モラル講話



NPO法人子どもとメディアの古野様にお越しいただき、情報モラル講話を実施しました。デジタル社会が私たちに与える影響について、「心身の健康」「人との関わり」など様々な視点から実例を挙げてわかりやすく紹介していただきました。

7/18(木)
令和6年度全国高総文祭・吹奏楽部壮行式



8月に岐阜県で開催される全国高等学校総合文化祭に県代表として参加する美術部の2年4組長岡美桜さんと、7月20日長崎市で行われる長崎県吹奏楽コンクールに出場する吹奏楽部の壮行式を行いました。
【吹奏楽部結果】
第69回長崎県吹奏楽コンクール 銅賞

☆各部活動報告☆

【陸上部】

国民スポーツ大会長崎県予選会 (7月15日)
 男子少年A 300mH 第6位 山内琉空
 男子少年B 100m 第7位 福原悠吾
 男子少年B 走幅跳 第7位 永田直大
 男子少年共通 800m 第8位 立石涼馬

【ヒューマンハート部】

・ボランティアチーム・



7/13(土)第2回海岸清掃 (石田町塩津浜)

たくさんの海洋漂着ごみがありました。



7/14(日)インターアクトクラブ年次大会
 国際ロータリー2700地区の研修会に参加しました。SDGsの講話や生徒交流会もあり、ポスターで壱岐高校の活動を紹介しました。

・探究チーム・



7/20(土)壱岐なみらい創りプロジェクト対話会
 石田農村環境改善センターで今後の方向性について協議し、行われた市民対話会でアイデアを提案してきました。

8月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

★：土曜学習・学校開放

1	木	スタキャン③	
2	金	スタキャン③	
3	土	全統河合塾マーク模試③ 公務員セミナー③	
4	日	全統河合塾マーク模試③	
5	月	学校開放③	
6	火	学校開放③	
7	水	学校開放③ コース宿泊体験	
8	木	学校開放③ コース体験入学	
9	金	登校日(平和学習)	
10	土	閉庁日 学校閉庁期間(~15)	
11	日	【山の日】 閉庁日	
12	月	【振替休日8/11】 閉庁日	
13	火	閉庁日	
14	水	閉庁日	
15	木	閉庁日	
16	金		
17	土		★
18	日		
19	月		
20	火		
21	水		
22	木		
23	金		
24	土		
25	日		
26	月	授業日 開始式 壱岐高テスト①②	
27	火	授業日 (壱岐高テスト②)	
28	水	授業日	SC
29	木	授業日	
30	金	授業日 東ア①②③第2回コース交流会(AM)	SSW
31	土		

6月18日(火) 島内巡検3回目、19日(水) 島内巡検4回目を実施

1年生が、歴史学入門の授業で島内巡検を行いました。第3回目は石田町にある電力の鬼“松永安左エ門記念館”を訪れ、「なぜ、電力の鬼と呼ばれるようになったのか」を学びました。96歳で亡くなるまで、日本の将来にわたる電気事業の基盤は安左エ門氏の手によって築かれていったことを知りました。また、第4回目は「元寇」をテーマに浦海海岸、新城神社、新城古戦場等を訪れました。これらの地は、文永の役の際、元寇



が上陸した場所とされています。壱岐は、様々な時代の遺跡や遺物、そして、土器・石器などが発掘される、歴史遺産の豊富な島であり、まだまだ多くの研究の可能性を秘めています。



右の掛木古墳は、壱岐市指定有形文化財の円墳であり、家形石棺として有名です。亀石という、壱岐の中でも特に、古墳が集中している地域にあります。

日台交流会を本校で開催（6月25日）

台湾から来日された31名の観光客の方々と本校のコース生が、交流会を行いました。台湾の方々に、壱岐にまつわるクイズやモルックやジェンガなどのレクリエーションそしてテーブルを囲んでの談笑を楽しんでいただき、生徒たちにとっても中国語で心を通わせる貴重な機会となりました。



乌贼

海胆

金枪鱼

～台湾の代表者より生徒たちへ～



20歳になっていない皆さんは、志をもっていなければならぬ。早い段階で、志をもつことが大切。何年か後には、台湾にお越しいただけることを心待ちにしています。夢は、必ず実現します。本日は、ありがとうございました。

